

守山警察署協議会議事録

開催日時	令和7年11月17日（月）午後2時30分～午後4時	
開催場所	滋賀県警察本部刑事部科学捜査研究所、守山警察署	
出席者	委員	岩井知子委員（副会長）、葎本勝利委員、片山礼子委員 荒川博行委員 木村靖委員
	警察	永田署長、足立調査官（警務課長）、田部交通課長
議事概要	<p>1 副会長挨拶</p> <p>副会長から「本日の協議会は、刑事部科学捜査研究所の視察をさせていただくことになり、楽しみにしている。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>署長から「警察署協議会に対する御理解と御協力に感謝申し上げます。本日は、科学捜査研究所の視察をしていただき、警察の科学捜査について、御理解を深めていただければ幸いです。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 提言に対する反映結果の報告</p> <p>本年6月17日開催の協議会において、委員から「新しく開通した湖南幹線と県道野洲中主線が交わる交差点において渋滞が発生し、対応が必要である。」旨の提言があったことに対し、警察から「交通量調査を実施の上、付近道路の一時停止解除、通行禁止変更等の交通規制を実施した。引き続き、道路管理者と情報共有を図り、周辺道路の渋滞対策を行っていく。」旨の報告がなされた。</p> <p>(2) 科学捜査研究所の視察</p> <p>ア 総括</p> <p>警察から、業務概要及び鑑定の実施状況について説明がなされた。</p> <p>イ 物理関係</p> <p>警察から火災や交通事故の原因究明や事実解明のための現場検証、実証実験等について説明がなされた。委員から「火災の原因が電気関係か油によるものか、判別できるのか。」旨の質問がなされ、警察から「現場に油類がまかれていますれば、検知できる。」旨の説明がなされた。</p>	

ウ 法医関係

警察から、犯罪現場から採取した微物や遺留品等からのDNA鑑定について説明がなされた。

エ 化学関係

警察から、車両の塗膜片や火薬類の鑑定、覚醒剤や大麻等の薬物の鑑定について説明がなされた。

オ 心理文書関係

警察から、犯人しか知り得ない記憶の有無を明らかにするポリグラフ検査、筆跡鑑定や印刷物鑑定について説明がなされた。

(3) 次回の開催日程

令和8年2月3日に開催することとした。

4 その他

警察から、11月6日に警察本部で開催された警察署協議会代表者会議への出席結果について報告がなされた。